



平成22年5月12日(水)
国土交通省 関東地方整備局
千葉国道事務所
首都国道事務所
常総国道事務所

記者発表資料

平成22年度 関東地方整備局（千葉県内）道路関係予算の 概要について

千葉県内の平成22年度予算は約361億円となります。千葉県内の地域活力の再生と向上を図る下記の4つの観点により、効率的かつ効果的に事業を推進します。

1. 地域の骨格を形成し、活力ある県土づくり
2. 災害に強い県土づくり
3. 安全で安心して生活できる県土づくり
4. 道路の効率的な維持管理

千葉県内の主要な直轄事業としては、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）、東京外かく環状道路（外環）及び北千葉道路といった県土の骨格を成す幹線道路網の整備を進めてまいります。

災害に強い道路交通を確保するため、国道127号の老朽トンネルの対策等を行ってまいります。

また、安全で安心して生活できる沿道の環境を整備推進する観点から、国道357号等において、渋滞対策や交通事故対策を行ってまいります。

これらの事業にあたっては、県や関係市町村と計画から事業実施に至る各段階で綿密な調整を図りながら、まちづくりとの連携に配慮してまいります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	神奈川建設記者会
千葉県政記者クラブ	千葉市政記者クラブ

問合せ先

千葉国道事務所	副所長(技)	くぼた 窪田	たつや 達也	電話043-287-0311(代)
首都国道事務所	副所長(技)	ふじた 藤田	あきら 明	電話047-362-4111(代)
常総国道事務所	副所長(技)	かねこ 金子	つよし 剛	電話029-826-2040(代)

平成22年度 千葉県内予算総括表

平成22年度の千葉県内直轄事業の事業別内訳は以下のとおりです。

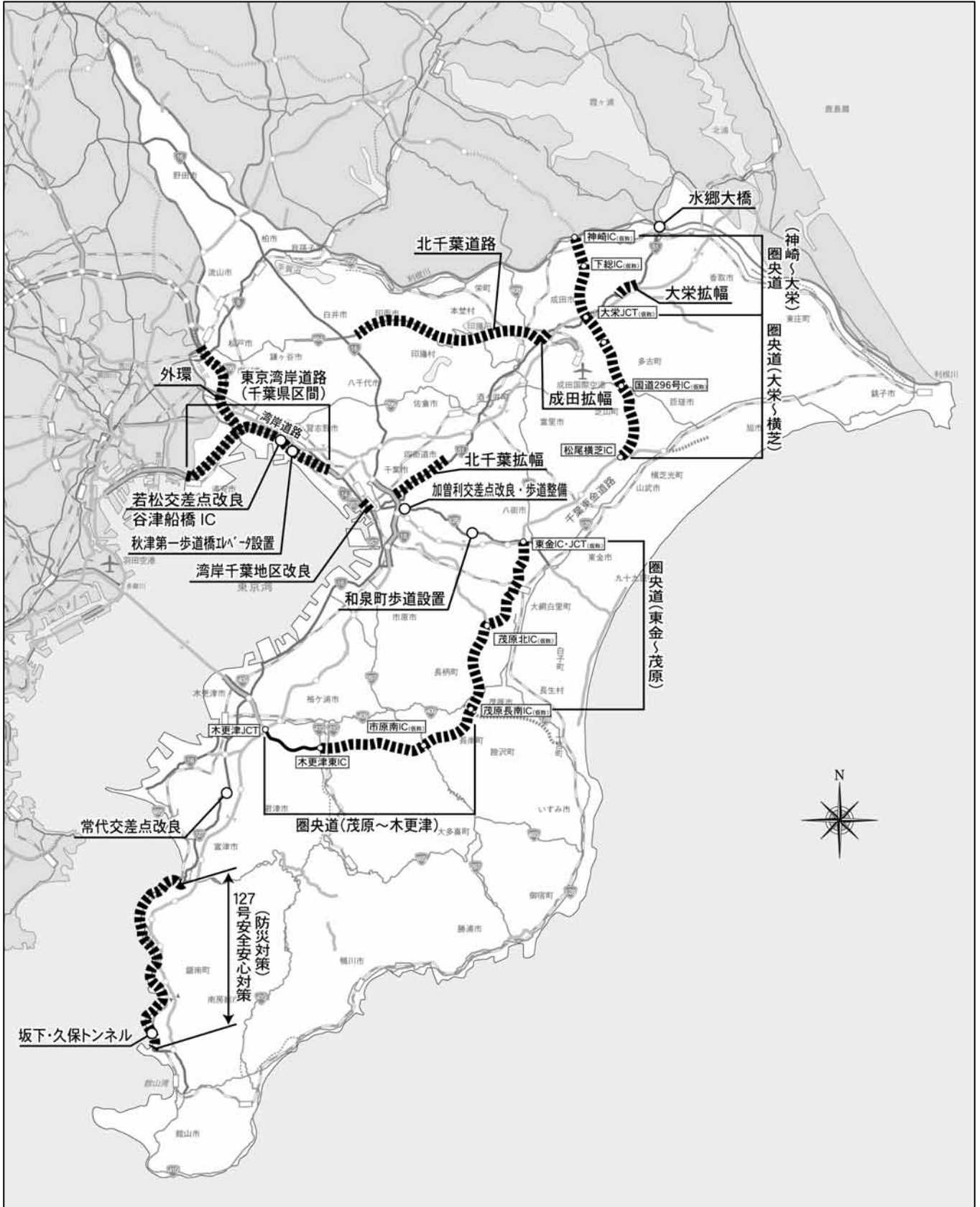
平成22年度 千葉県内 事業費

(単位:百万円)

事業名	事業費			
	千葉国道	首都国道	常総国道	合計
改築事業	18,214	7,752	4,014	29,980
国道468号 首都圏中央連絡自動車道	8,867		4,014	12,881
国道298号 東京外かく環状道路		7,677		7,677
国道464号 北千葉道路	3,196			3,196
国道357号 湾岸千葉地区改良	4,435			4,435
国道51号 北千葉拡幅	120			120
国道51号 成田拡幅	75			75
国道51号 大栄拡幅	75			75
国道127号 安全安心対策	166			166
国道357号 若松交差点改良	1,250			1,250
国道357号 東京湾岸道路(千葉県区間)		75		75
国道6号 千葉6号環境対策	10			10
国道16号 千葉16号環境対策	20			20
道路更新防災事業	2,352	80		2,432
交通安全事業	1,242	2		1,244
電線共同溝事業	972	80		1,052
共同溝事業	15			15
維持管理	1,320	67		1,386
合計	24,115	7,981	4,014	36,109

上記のほか、調査費、業務取扱費等がある。

千葉県内における主な直轄事業(道路)は、下図の箇所において実施します。



1. 地域の骨格を形成し、活力ある県土づくり

(広域的な道路網の形成)

H22年度事業費 128.81億円

しゅとけんちゅうおううれんらくじどうしゃどう けんおうどう 国道468号 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

(神崎町、成田市、多古町、芝山町、横芝光町、山武市、東金市、千葉市、大網白里町、茂原市、長柄町、長南町、市原市、袖ヶ浦市、木更津市)

千葉国道事務所

常総国道事務所

1. 概要

圏央道は、首都圏の交通混雑の緩和や地域の活性化を図ることを目的に計画された道路で、都心から半径40～60kmに位置する総延長約300km(千葉県内約95km)の自動車専用道路です。

現在、東京都の八王子JCT～埼玉県の桶川北本IC間、茨城県のつくば中央IC～稲敷IC間、神奈川県の高老名JCT～高老名IC間、千葉県の木更津JCT～木更津東IC間が開通しています。

2. これまでの状況

千葉県内の東金IC・JCT～木更津東IC間について、用地買収及び工事を推進しています。このうち東金IC・JCT～茂原長南ICの用地取得率は98%、残件数25件となっています。また、茂原長南IC～木更津東ICまでの区間については、平成21年8月に土地収用法に基づく事業の認定が告示され、用地取得率は97%、残件数18件となっています。

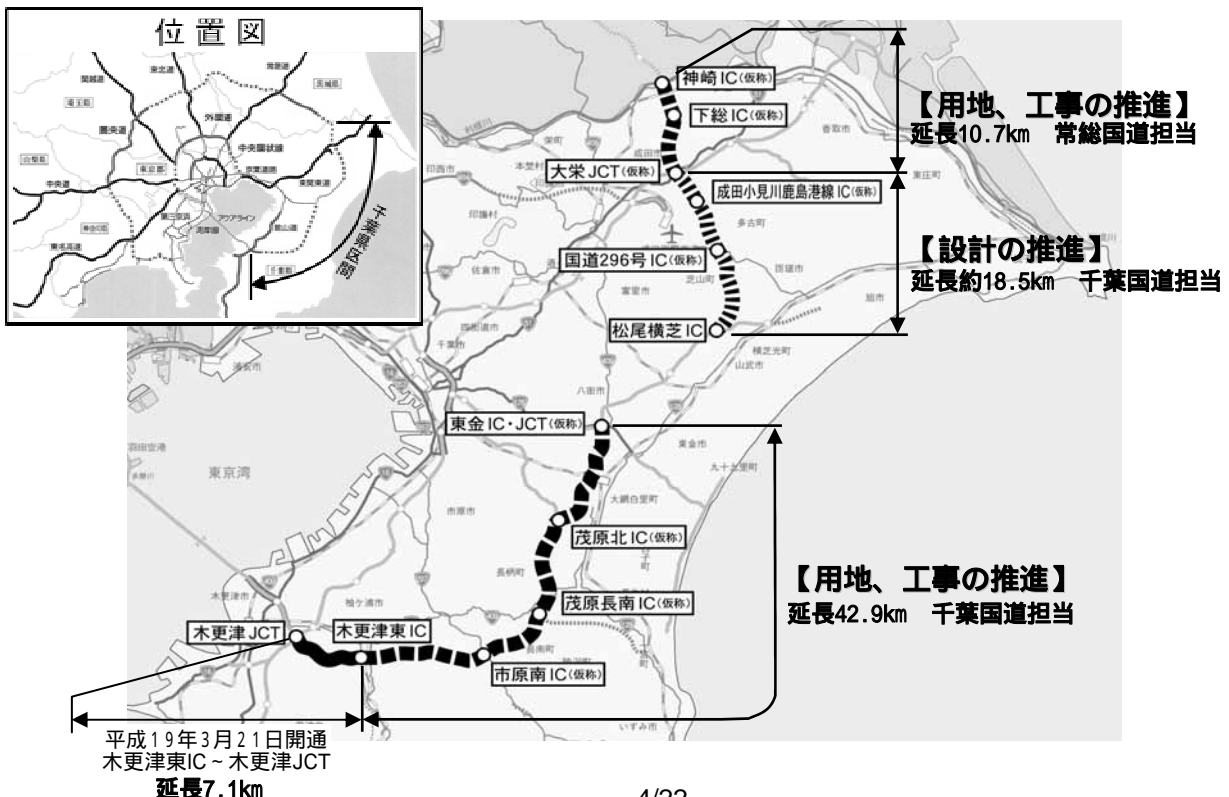
千葉県境～大栄JCT間については、用地買収(用地取得率91.8%、残件数33件)及び工事を推進しています。用地取得率、残件数は平成22年3月末時点

3. 平成22年度の予定

東金IC・JCT～茂原長南IC間は、土地収用法に基づく事業認定手続きを、茂原長南IC～木更津東IC間は、収用手続きを進めます。また、千葉県境～大栄JCT間は、用地買収を進めます。

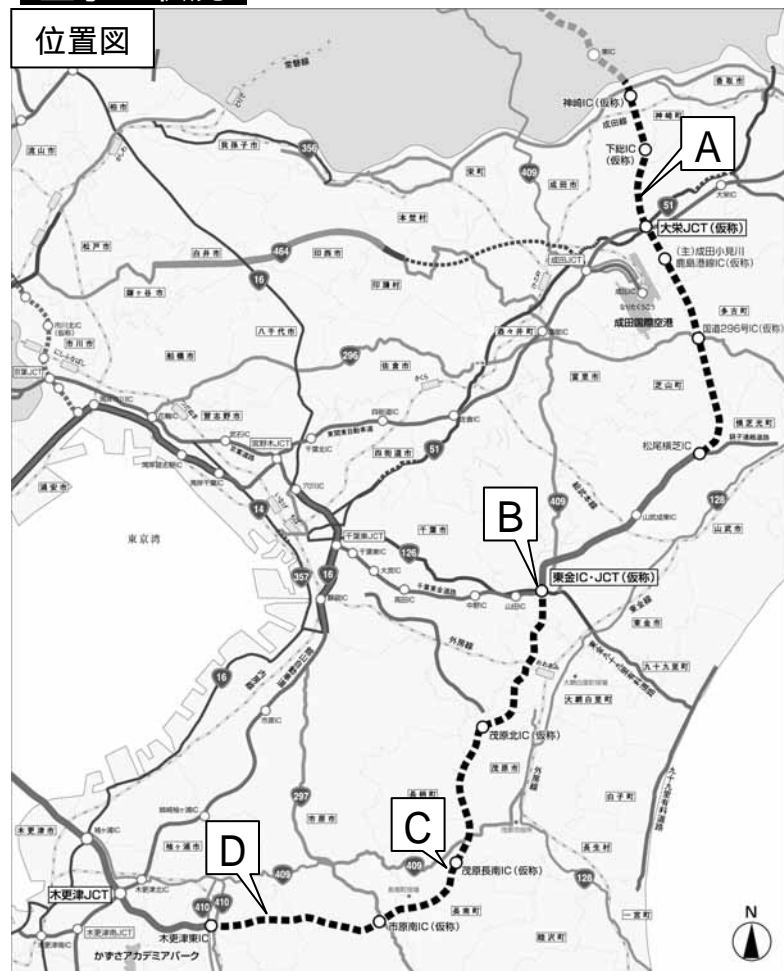
東金IC・JCT～木更津東IC間、千葉県境～大栄JCT間について、橋梁やトンネル工事等を推進します。

大栄JCT～松尾横芝IC間においては、道路の設計を推進します。



工事の状況

位置図



A しばだいにこうかきょう
芝第二高架橋（仮称）



B とうがね
東金JCT橋（仮称）



C IC名は（仮称）
ビオトープ工事



工事状況



工事状況

D まりやつ
真里谷第二トンネル（仮称）



ビオトープとは？
本来その地域にすむ様々な野生生物が生息することができる空間のこと。「生物の生息空間」と訳される。

1. 地域の骨格を形成し、活力ある県土づくり

(地域の交通混雑の緩和、地域の防災機能の向上等) H22年度事業費76.77億円

とうきょうがいかくかんじょうどうろ
国道298号 東京外かく環状道路 (松戸市、市川市)

首都国道事務所

1. 概要

東京外かく環状道路(通称「外環」)は、首都圏の交通混雑の緩和や地域の防災機能の向上等を図ることを目的に計画された東京都心から半径約15km圏に位置する総延長約85kmの環状道路です。

現在、高速道路部は大泉JCTから三郷南IC間約34kmが開通しています。また、国道部(国道298号)は、一部暫定を含めて埼玉県和光市から千葉県市川市間の約36kmが開通しています。

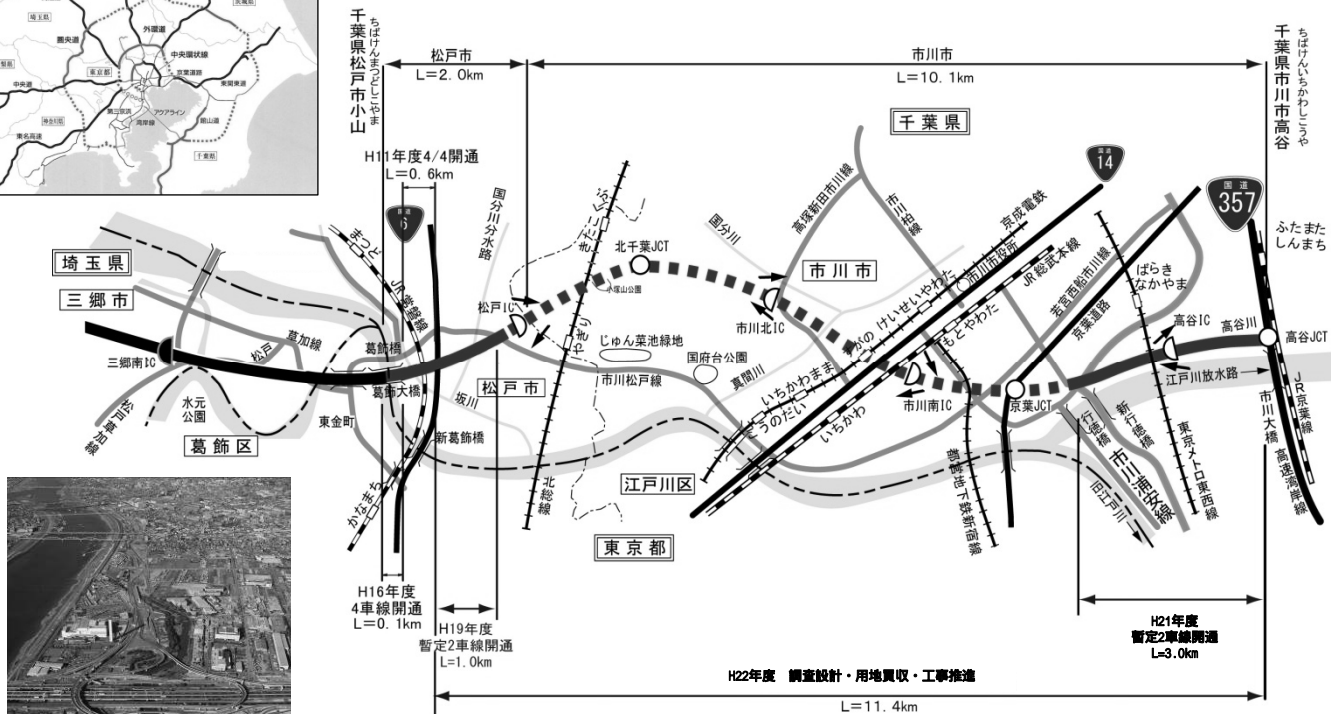
2. これまでの状況

外環(千葉県区間)では、松戸市小山から市川市高谷までの延長12.1kmについて、用地買収及び工事を推進中であり、平成22年3月末時点で用地取得率が約97%に達しているところです。

3. 平成22年度の予定

平成22年度は、用地買収及び道路改良・橋梁・トンネル工事等を推進します。事業の推進にあたっては、国道部(国道298号)の環境施設帯(副道・自転車歩行者道)をできる限り先行整備してまいります。

位置図



IC名は仮称



写真: 高谷付近全景

1. 地域の骨格を形成し、活力ある県土づくり

(成田国際空港へのアクセス強化) H22年度事業費 31.96億円

国道464号 きたちばどうろ 北千葉道路

千葉国道事務所

(印西市、成田市)

1. 概要

北千葉道路は、成田国際空港へのアクセス強化、東葛飾地域及び千葉ニュータウンと成田周辺地域との連携強化等を目的とした、市川市（東京外かく環状道路）から成田市に至る延長約47kmの幹線道路です。

このうち、千葉ニュータウン（印西市）から成田市に至る約14kmについて、成田新高速鉄道との一体的な整備を図りつつ、千葉県、鉄道事業者と協働し事業を進めます。

2. これまでの状況

北千葉道路の施行区間約14kmのうち、成田新高速鉄道と一体的に整備を進めている延長約10kmについては、用地買収及び工事を推進しています。用地取得率は、道路用地で約96%、残件数5件となっています。

なお、成田新高速鉄道は平成22年7月17日の開業を予定しています。北千葉道路については、鉄道開業後に更なる工事の進捗を図ることとしております。

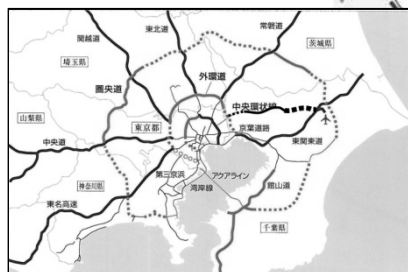
用地取得率、残件数は平成22年3月末時点

3. 平成22年度の予定

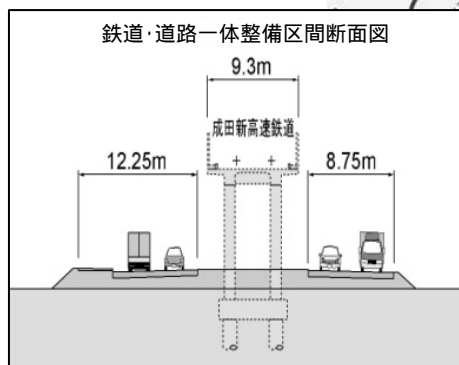
平成22年度は、引き続き道路用地の買収を進めます。

工事については、国が担当する成田新高速鉄道との一体整備部（成田市内）の橋梁下部工（基礎と橋脚）を全て完成させ、橋梁上部工（橋桁）に着手する予定です。

位置図

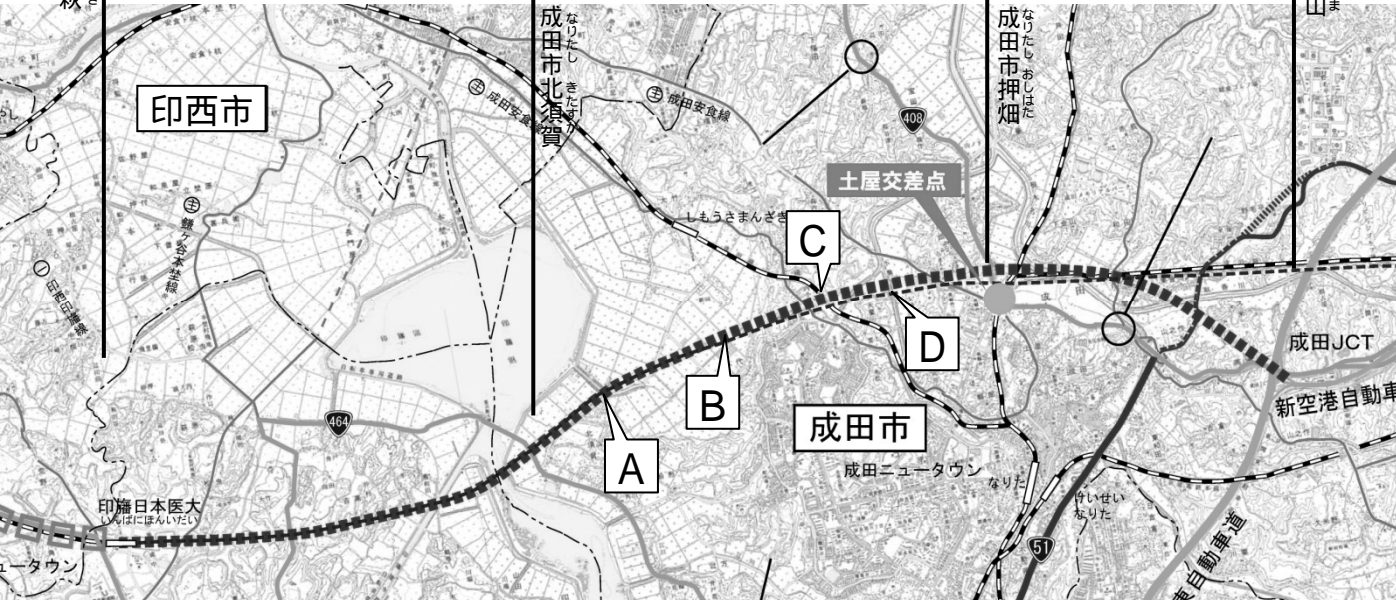
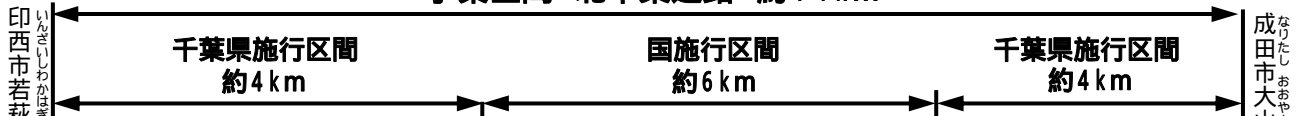


鉄道・道路一体整備区間断面図



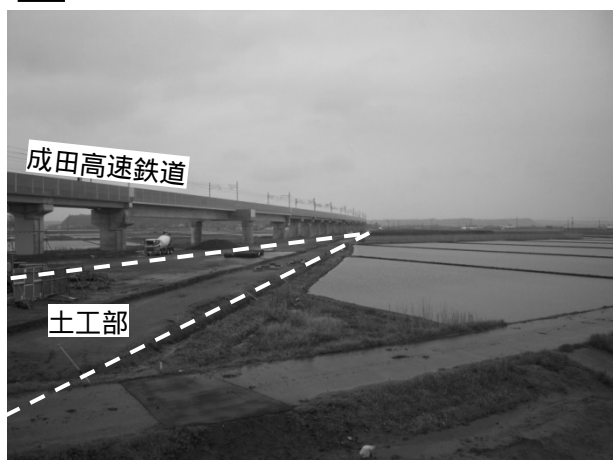
工事の状況

事業区間 北千葉道路 約14km



A まんざきしゅうすいりょうはし
松崎集水路橋から成田方面を望む

B きたすがおおたけせん
北須賀大竹線から成田方面を望む



C まんざきこせんきょう
松崎跨線橋から成田方面を望む

D まんざきこうかきょう
松崎高架橋から印旛方面を望む



橋名は(仮称)

2. 災害に強い県土づくり (災害に強い道路交通の確保)

H22年度事業費 2.11億円
(改築事業費 1.66億円 交通安全事業費 0.45億円)

国道127号安全安心対策

(南房総市、鋸南町、富津市)

千葉国道事務所

1. 概要

国道127号は、内房地域の周辺市町を結ぶ幹線道路でありながら、異常気象時の交通規制区間を抱え、老朽化が著しいトンネル・橋梁、大型車のすれ違いが困難な区間、通学路の歩道未設置区間、交通事故多発箇所が未だ多く残されており、これらの地域課題を解決し、災害に強い、安全・安心な道路交通の確保に向けた事業を推進します。

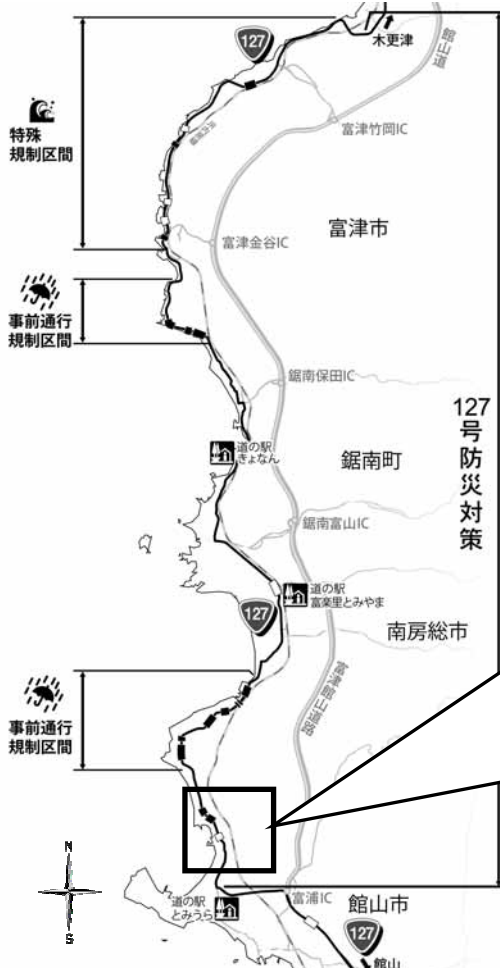
2. これまでの状況

これまでも、道路のり面の防災対策、幅員が狭く老朽化が進んだトンネルの改良を行ってきましたが、今般、沿線の3市町から「国道127号安全・安心アクションプログラム(H21.3.26)」が国、千葉県に提言され、安全で安心して暮らせる地域づくりの基盤となる国道127号の早急な改修を強く求められているところです。

3. 平成22年度の予定

富浦小学校前の通学路へ歩道を設置するために必要となる用地の買収を引き続き行うとともに、新たに老朽トンネルの改良のための用地取得に向け、用地・設計等の地元説明を予定しています。

通学路の歩道設置 : 富浦小学校前 延長140m(両側)
老朽トンネル対策 : 坂下トンネル(57m)、久保トンネル(25m) 用地取得の推進



南房総市富浦町原岡地先



道幅の狭い坂下トンネル



徒歩での通学範囲であるにもかかわらず歩道が無く危険なことから、バスで通学する児童(富浦小学校前)

2. 災害に強い県土づくり

(将来の災害に備えた道路ストックの機能強化) H22年度事業費 24.32億円

国道51号水郷大橋等24橋梁の耐震補強、補修等 (香取市、市川市等)

千葉国道事務所

首都国道事務所

1. 概要

国道51号、357号などの直轄国道は、千葉県内の大動脈として、生活や産業などに欠かせない重要な道路です。このため、大規模地震発生時等において、円滑かつ迅速な応急活動が行えるよう、橋梁の耐震補強を引き続き推進します。

また、橋梁の定期的な点検結果を受けて、大規模な修繕や更新に至る前に対策を行う予防的補修についても、引き続き実施します。

2. これまでの状況

耐震補強については、県庁所在地間を結ぶ国道上の橋梁を中心に、耐震補強工事を進めてきました。また、橋梁補修については、5年に1回の定期点検で確認された、速やかな補修を要する橋梁において、橋梁補修工事を実施してきました。

3. 平成22年度の予定

路線名	箇所名	今年度事業内容
国道51号	水郷大橋(香取市佐原口)	橋脚耐震補強・上部工補修
国道357号	市川大橋(市川市上妙典)	橋脚耐震補強

他

上部構造(桁)の落下防止対策の例

上部(桁)と下部(橋脚)をケーブルで連結する構造

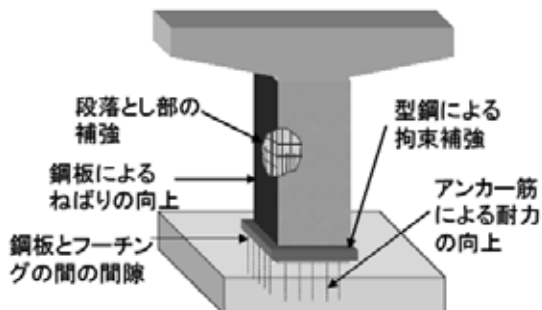


縁端拡幅ブラケットによる桁の落下防止



下部構造(橋脚)の耐震補強の例

鉄筋コンクリート橋脚の鋼板巻き立て補強工法



3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(地域交通のボトルネックの解消に向けて) H22年度事業費 0.75億円

とうきょうわんがんどうろ ちばけんくかん

国道357号 東京湾岸道路(千葉県区間)

(浦安市、市川市、船橋市、習志野市、千葉市)

千葉国道事務所

首都国道事務所

1. 概要

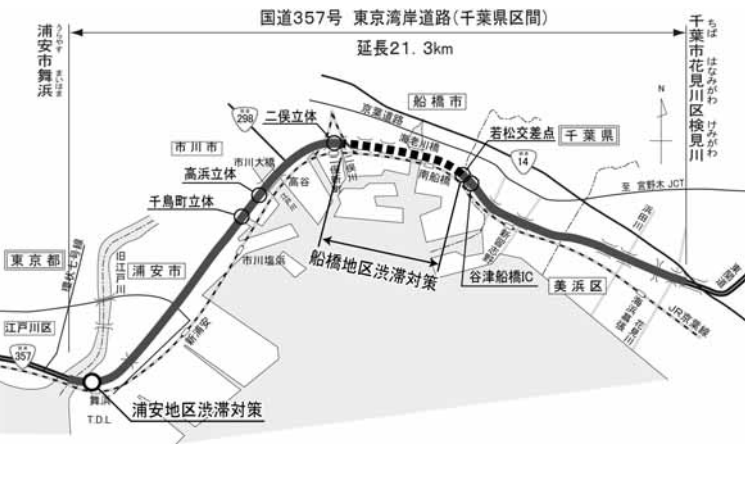
国道357号東京湾岸道路(千葉県区間)は、東京湾に接する主要都市を結び、物流の効率化、重要港湾や大規模集客施設へのアクセス向上等、産業・生活両面において不可欠な幹線道路です。このうち渋滞の著しい箇所について、車線の増設や交差点の改良を進めます。

2. これまでの状況

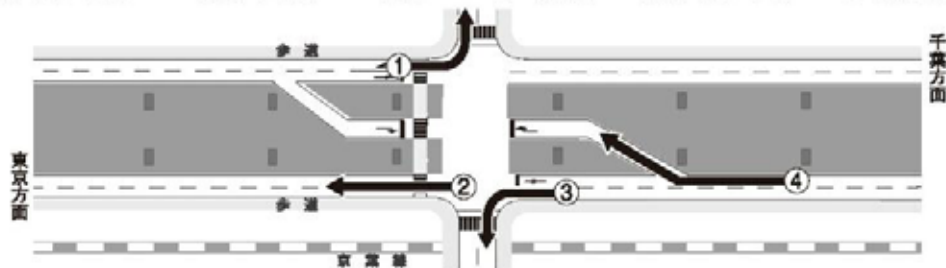
これまで交差点の渋滞対策として、二俣立体、高浜立体、千鳥町立体を整備する等の事業を進めてきました。平成22年3月には、船橋地区渋滞対策を今後進めるにあたって必要となる用地の取得に着手しました。

3. 平成22年度の予定

平成22年度は、船橋地区渋滞対策のため用地買収を引き続き行うとともに、調査設計を推進します。また、浦安地区渋滞対策のための調査設計を推進します。



○栄町交差点及び日の出交差点の現在の状況



3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(地域交通のボトルネックの解消に向けて) H22年度事業費 12.50億円

わかまつこうさてんかいらいよう やつふなばし

国道357号 若松交差点改良・谷津船橋ICの一体的整備

千葉国道事務所

(船橋市、習志野市)

1. 概要

千葉県内でも渋滞が著しく、4方向相互の通行ができない若松交差点の改良と船橋・習志野市境へ東関東自動車道の新たなICとなる谷津船橋ICの一体的整備を行うため、千葉県、NEXCO東日本と協働で事業を推進しているものです。

2. これまでの状況

平成18年9月に地域活性化ICとして谷津船橋ICの東関東自動車道への連結が許可されました。平成21年から谷津船橋IC、若松交差点改良工事に着手し、平成22年3月に若松交差点の変則的な交差点形状を解消し、幕張方面から直接、花輪IC方面に直進右左折ができる交差点になりました。

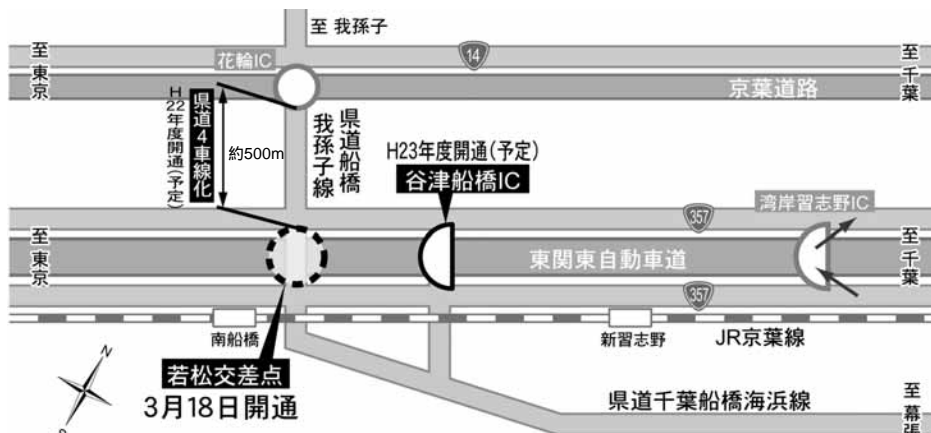
3. 平成22年度の予定

平成22年度は、谷津船橋ICの千葉方面オフランプ設置のための工事や東関東自動車道直下のトンネル工事をを行います。また、若松交差点の横断歩道橋の基礎工事に着手する予定です。

位置図



変則的な交差点形状が解消された若松交差点 (我孫子方面から幕張方面を望む)



谷津船橋ICの工事状況

3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(地域交通のボトルネックの解消に向けて) H22年度事業費 44.35億円

わんがんちばちくかいりょう
国道357号 湾岸千葉地区改良

(千葉市)

千葉国道事務所

1. 概要

千葉市市街地及び湾岸地域へ集中する交通により、著しい渋滞が発生している登戸・千葉市役所前交差点を、連続し通過できる地下立体の整備を約1km区間で実施しています。さらに、地下立体前後の交差点渋滞対策についても千葉市とともに検討しています。

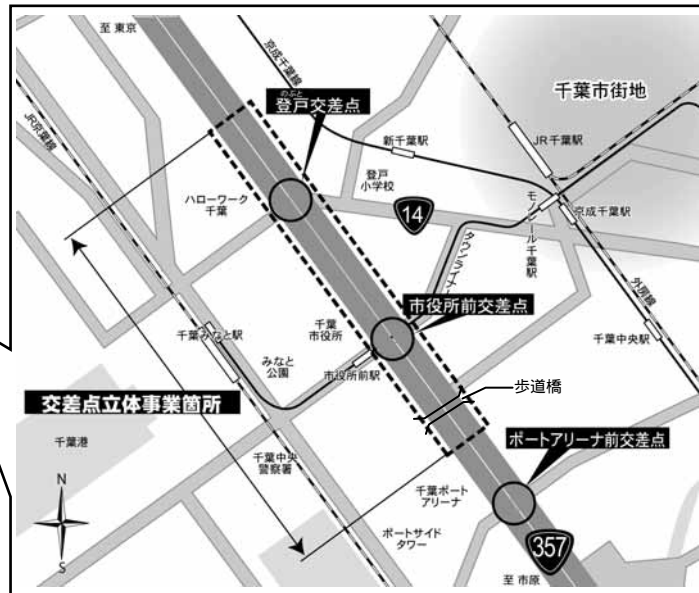
2. これまでの状況

平成17年度より道路の改良工事に着手し、これまで道路の地下に埋設されていた下水道管等の移設を順次行い、地下立体部の工事が可能となった箇所より整備を行っています。

3. 平成22年度の予定

平成22年度は、引き続き地下立体部の本体工事を進めます。

位置図



湾岸千葉地区改良(現況)



湾岸千葉地区改良(完成イメージ)

登戸交差点付近の工事状況



工事状況(地上部)



工事状況(地下立体部)

3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(地域交通のボトルネックの解消に向けて) H22年度事業費 1.20億円

きたちばかくふく

国道51号 北千葉拡幅

(千葉市、四街道市)

千葉国道事務所

1. 概要

千葉市若葉区貝塚町(国道16号交差点)から佐倉市馬渡に至る延長約7.6kmの道路拡幅事業です。車道の2車線から4車線への拡幅、狭い歩道(幅員1m前後)の拡幅をしています。現在、北千葉バイパス区間を含む約3.8kmが4車線化されており、残る区間について事業を進めています。

2. これまでの状況

千葉市区間約4.5kmのうち約1.1kmについては、平成22年3月25日、新たに開通しました。これにより延長約7.6kmのうち半分が4車線化されました。また、四街道市区間約3.1kmについては、平成21年2月に都市計画決定し、道路の設計等を進めています。

3. 平成22年度の予定

千葉市若葉区の川野辺交差点から四街道市域に向けて、4車線道路の整備に必要な用地の買収を行います。平成22年度は、吉岡十字路交差点周辺の用地・設計等の地元説明を予定しており、用地の買収に着手します。



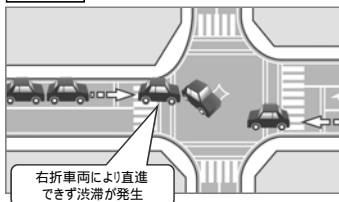
今後は、川野辺交差点から坂戸交差点までの残り3.8kmの渋滞緩和に向けた取組みを進めていきます

吉岡十字路交差点では、直進、右折車線を増設する交差点改良を行います。

整備イメージ

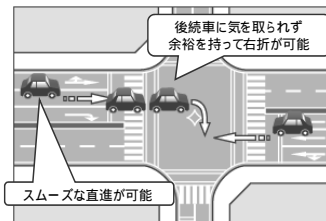


対策前



対策後

- ・右折車線の設置
- ・中央分離帯の設置



3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(地域交通のボトルネックの解消に向けて) H22年度事業費 0.75億円

国道51号 成田拡幅 なりたかくふく

(成田市)

千葉国道事務所

1. 概要

国道51号成田拡幅は、成田市内の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的とする延長約5.8kmの現道拡幅事業です。

2. これまでの状況

拡幅延長5.8kmのうち、成田市並木地先から寺台地先の4.6kmはすでに4車線化され、残り1.2kmが2車線のままとなっています。成田市寺台地先から東金山地先の区間については、平成20年代半ばの北千葉道路開通と併せて開通できるよう、平成21年度から用地買収に着手しています。

3. 平成22年度の予定

千葉市側の成田市並木地先の0.2kmについて、引き続き用地買収を進めます。

成田市寺台地先～東金山地先の1.0kmについては、国道464号北千葉道路と一体的に整備を推進します。

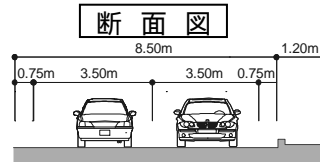


整備前

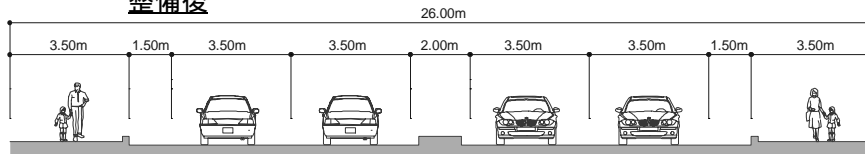


成田市並木町付近

整備前



整備後



整備後



成田市不動ヶ岡付近

3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(地域交通のボトルネックの解消に向けて) H22年度事業費 0.75億円

国道51号 ^{たいえいかくふく} 大栄拡幅 (成田市)

千葉国道事務所

1. 概要

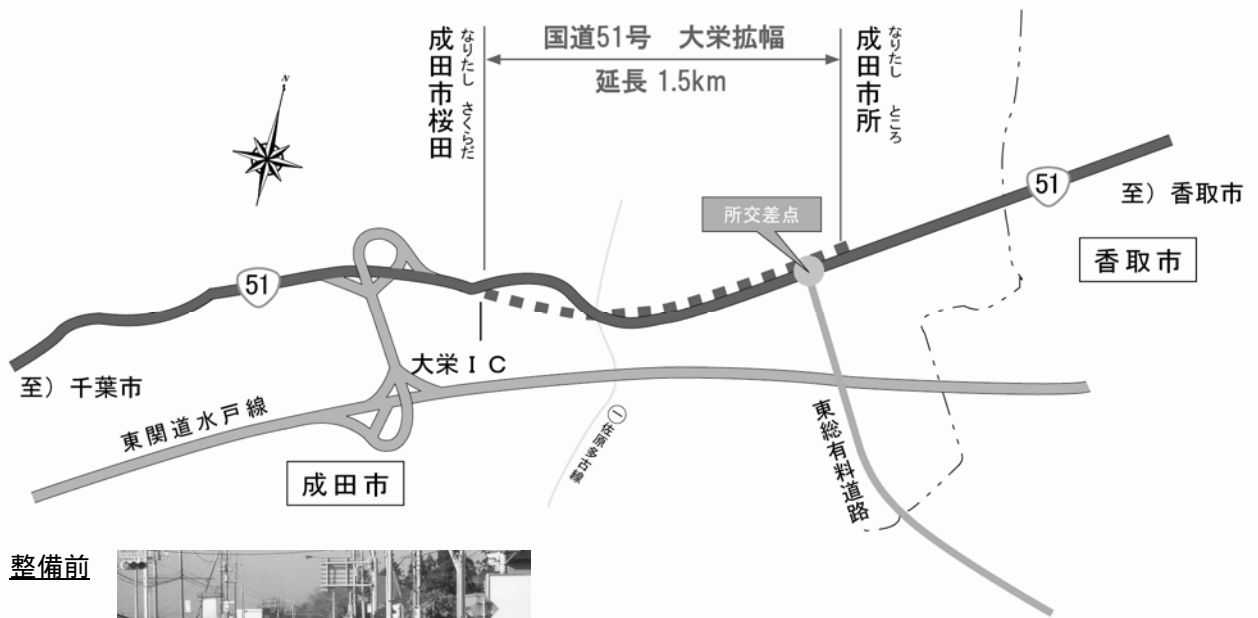
国道51号大栄拡幅は、成田市内の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的とする延長約1.5kmの現道拡幅事業です。

2. これまでの状況

渋滞の発生している東関道大栄IC入口から所交差点（東総有料道路入口）までの区間について、用地買収を進めてきました。

3. 平成22年度の予定

平成22年度は、所交差点周辺の用地買収を進めます。



整備前



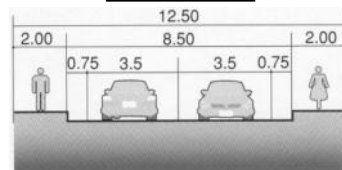
大栄町所交差点付近

整備イメージ

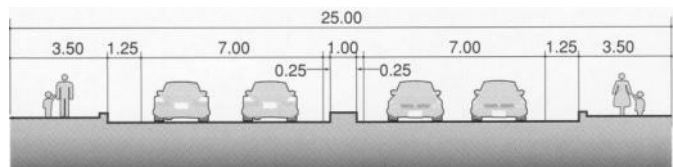


断面図

整備前



整備後



3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(高齢者等に配慮した歩行空間づくり)

H22年度事業費 2.79億円

あきつだいいちほどうきょう

せっち

国道357号秋津第一歩道橋エレベータ設置

千葉国道事務所

(習志野市)

1. 概要

当該歩道橋が設置されている国道357号香澄交差点は、京葉線新習志野駅、大型商業施設、高齢者施設と隣接していることから、約2,700人/(7:00~19:00)(H19年)が交差点を横断しています。しかしながら、当該歩道橋には、エレベータ等の昇降施設がなく、高齢者等にとって利用しづらいものとなっていることから、歩道橋のバリアフリー化(エレベータ設置)を行い、高齢者等のスムーズな歩行を確保し、移動性の向上を図ります。

2. これまでの状況

これまでも地域から度重なるエレベータ設置の要望があり、また、平成19年12月に「JR新習志野駅周辺地区バリアフリー整備計画書」が習志野市において策定されました。さらに、平成20年7月に「バリアフリー化推進検討会」が発足し、習志野市、習志野警察署との合同により現地調査を行っています。

3. 平成22年度の予定

平成22年度は、エレベータ設置に必要な用地を買収し、歩道橋改修工事、エレベータの製作及び設置工事を行い、平成22年度中の完成を目指します。

千葉県全体位置図



位置図



現況



整備後(イメージ図)



3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(電線類の地中化による都市防災の防止) H22年度事業費 10.52億円

国道6号旭町他9箇所の電線類の地中化

千葉国道事務所

首都国道事務所

1. 概要

都市災害の防止と併せ、安全で快適な通行空間の確保等を図るため、千葉県内の直轄国道における「無電柱化推進計画(H21~25)」に基づき、電線類の地中化を引き続き重点的に進めます。

2. これまでの状況

これまでの「無電柱化推進計画」による計画延長約160kmのうち100kmを超える延長の無電柱化を進めてきました。無電柱化にあわせ、歩道のバリアフリー化を行い、良好な歩行空間を整備しています。

3. 平成22年度の予定

平成22年度は、引き続き事業を進め、国道6号旭町や国道16号堤根、国道357号蘇我町などにおいて、地下管の埋設の完成を目指します。

H22年度主な事業箇所



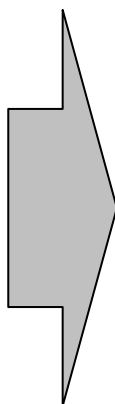
国道6号 旭町



国道16号 堤根



国道357号 蘇我町



整備イメージ

3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(より安全で安心して生活できる道路の再構築)

H22年度事業費 1.05億円

千葉国道事務所

とこしろうさてんかいりょうじぎょう 国道127号常代交差点改良事業 (君津市)

1. 概要

死傷事故率の高い交差点等において、交通事故対策を重点的に実施することにより、安全で安心して利用できる道路へ改善を図ります。

2. これまでの状況

千葉県の交通事故の現状は、平成16年から5年間で約16.7万件の交通事故が発生し、1,370人の尊い命が失われています。1日で約90件の交通事故が発生している状況です。これらを踏まえ、事故の発生割合の高い箇所において、交差点改良などの交通事故対策を重点的に実施しています。

位置図



常代交差点【現況】

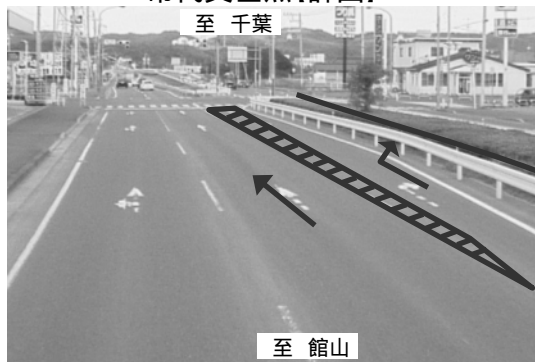


3. 平成22年度の予定

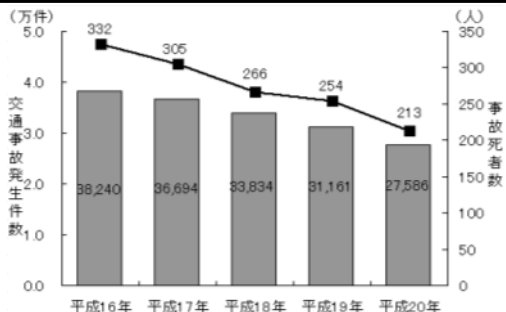
平成22年度は、^{とこしろ}常代交差点(君津市常代2丁目)の交通安全対策として、右折レーン整備を予定しており、年度内の完成を目指し工事を進めます。

- ・中央帯の幅を狭め、右折レーンを中央寄りに移すことで、右折時間を短縮
- ・追突事故防止のための路面標示

常代交差点【計画】



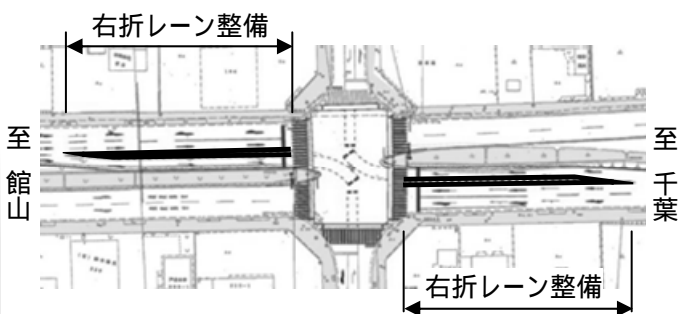
県内の交通事故発生件数と事故死者数の推移



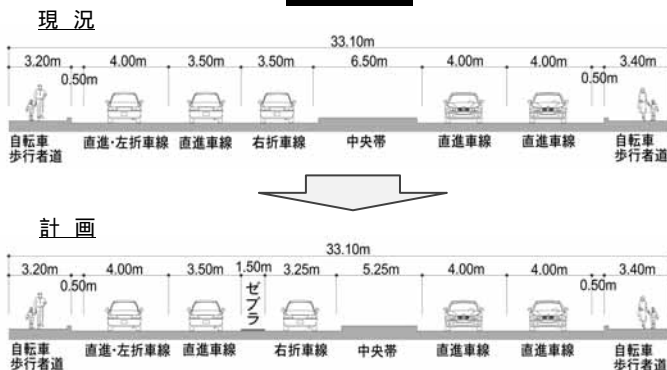
凡例 □ 交通事故件数 ■ 事故死者数

出典:平成20年交通白書(千葉県警察本部)

平面図



断面図



3. 安全で安心して生活できる県土づくり

(通学路における歩行空間の整備)

H22年度事業費 3.57億円

かそりこうさてんかいりょう・ほどうせいび
国道126号加曽利交差点改良・歩道整備 (千葉市)

千葉国道事務所

いずみちょうほどうせっち
国道126号和泉町歩道設置 (千葉市)

1. 概要

通学路に指定されているものの、歩道が未整備または狭小で段差がある区間について、安全で安心な歩道空間の確保に向けて事業を推進します。

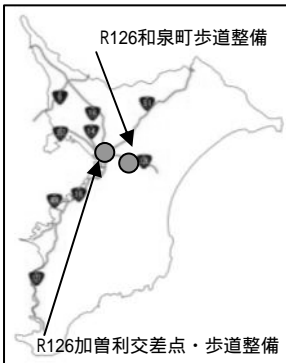
2. これまでの状況

国道126号加曽利地区(千葉市若葉区加曽利町)については千葉市と連携しながら設計・協議、用地買収を推進しており、和泉町地区(千葉市若葉区和泉町)については設計等が完了しているところです。

3. 平成22年度の予定

平成22年度は、加曽利地区では用地買収を進め、和泉町地区では歩道改良工事(3.5km)に着手し平成22年度内の完成を目指します。

【位置図】



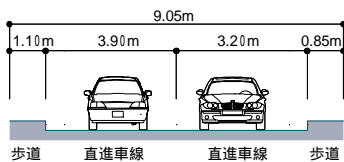
【現況写真】

国道126号加曽利交差点・歩道整備

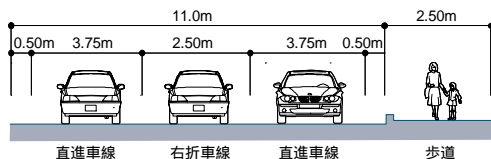


【断面図】

現況



計画



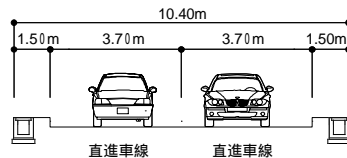
【現況写真】

国道126号和泉町歩道設置

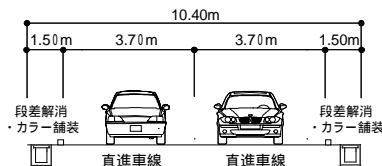


【断面図】

現況



計画



4. 道路の効率的な維持管理

H 2 2 年度事業費 1 3 . 8 6 億円

千葉国道事務所

首都国道事務所

1. 概要

千葉県内、千葉国道事務所及び首都国道事務所管理の9路線(約313km)について、巡回や清掃、除草、剪定等の作業頻度を明確に定め、道路の維持管理費の縮減を図りつつ、効率的な維持管理を実施します。

2. これまでの状況

快適な道路環境を保つため、舗装修繕に代表されるような走行安定性の確保を重点に行ってきました。また、各地域により気象条件や沿道状況等が異なることから、清掃、除草、剪定等の維持管理を地域ごとに実施してきました。

3. 平成22年度の予定

平成22年度は、清掃の回数を見直す等のコストの縮減を図っていくとともに、安全・安心な道路環境の確保を最優先に維持管理を行ってまいります。



【道路巡回】



【路面清掃】



【除草】

